

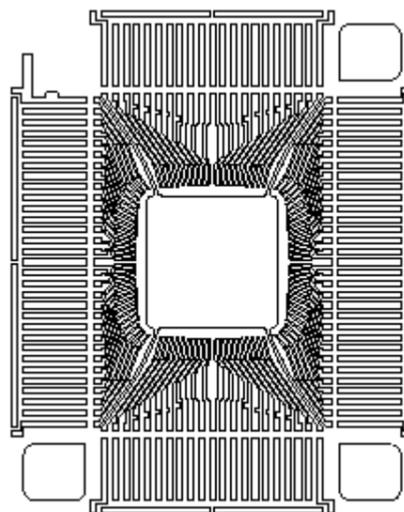
ハードコピー出力

XGBRVU からは非常に高精度なハードコピーが得られます。以下のフォーマットが出力できます

- ・ Laserjet とそのコンパティブルマシン
 - HPGL と HPGL2 フォーマット
- ・ Deskjet, Designjet その他の RTL 入力のプロッター
 - RTL フォーマット
- ・ 図形化ドキュメント管理システム
 - TIFF フォーマット

Versatec, Calcomp, Raster Graphics などの電子プロッタ用の追加オプションもあります。

FIRE9000 と RS274X のポリゴン・サポート

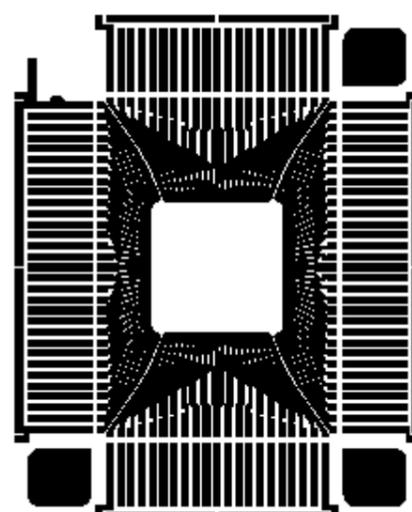


▲ 実際の Gerber データ

GBRVU は RS274X ポリゴン (G36/G37) と Fire 9000 の POEX/POINT コマンドの両者をサポートします。

これによって、フォトプロッタで作成されるフィルムと同じ図面をプロットして、そのプレビューができるようになります。

ポリゴン・モードでは、Gerber データにはバウンダリしか入っておらず、プロッタが各領域を塗潰しています。他の多くの Gerber ビューアーではこれをエミュレートすることはできないので、最終結果を詳細にプレビューするのが困難です。



▲ GBRVU によるプレビュー

プラットフォーム

以下のプラットフォームがサポートされています。

SunOS, Solaris, AIX, HP-UX, SGI
Windows 95/98/2000/NT/XP/7

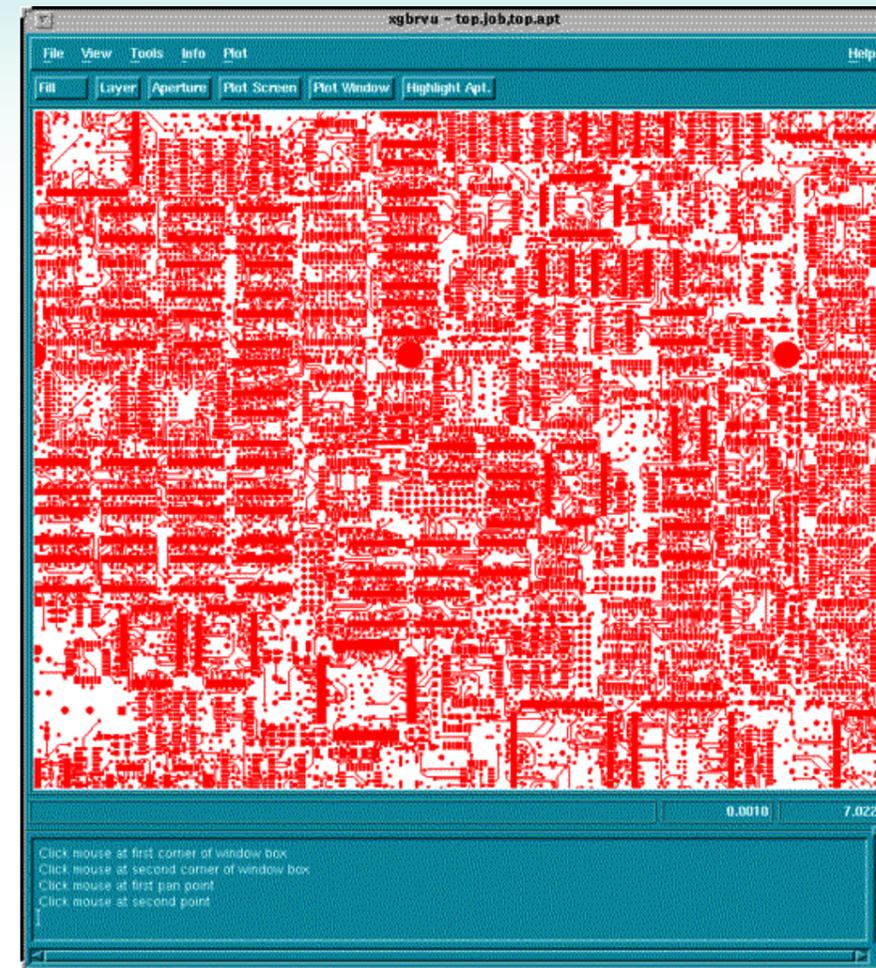
国内代理店：
アートワーク・ソリューションズ合同会社
東京都八王子市越野 11-13 Ⅲ-107
Tel: 042-675-6345 Fax: 042-675-6345
E-mail: yamamoto@artwork-solutions.co.jp

開発元：
ARTWORK CONVERSION SOFTWARE, INC
417 Ingalls St., Santa Cruz, CA 95060, USA
Tel: 831-426-6163 Fax: 831-426-2824
Email: info@artwork.com
www.artwork.com

*当資料中の会社名・製品名等は、各社の商標または登録商標です。

GBRVU

GERBER View/Plot



機能概要

- ◆ コンボジット (複合図形) プロットの、ペイントとスクラッチのプレビュー
- ◆ コマンドは、メニューからでも、直接キーボードからでも実行できます
- ◆ Allegro, Mentor, PADs, Protel その他のアパーチャーリスト・トランスレータ
- ◆ Gerber フラッシュデータから Excellon Drill 作成
- ◆ レーザープリンタ、インクジェット、静電プロッタ (オプション) への高速高精度のプロット
- ◆ フローティング・ネットワーク・ライセンス: チーム全員で気軽に利用可能
- ◆ 表示装置: RS274D, RS274X, および MDA Autoplot
- ◆ プラットフォーム
UNIX 版:
Sun, HP, AIX, SGI
Windows 版:
Windows95/98/NT

- GBRVU を使えば、UNIX ワークステーションおよび PC 上で、Gerber フォトプロッタ・ファイルを実際の "WYSIWYG" (what you see is what you get) ファッションでディスプレイできます。ファイルをロードするだけで、そのデータベースを表示して検図や計測に使用できます。メニュードリブンのインターフェイスなので、操作方法を覚えるのは簡単です。
- プリント基板設計では、使用しているボード設計用ソフトウェアで作られた Gerber データを直接『チェックプロット』して見たいことがあります。このときに、GBRVU を使えば、アプリケーションから直接プロットするより、最終のフォトプロットとほとんど同じ高精度でチェックプロットを獲得できます。
- GBRVU は、ほとんどの業界標準のプロッタやプリンタをサポートします。また、最高級の静電プロッタのサポートも可能です。多くのタイプのレーザープロッターやインクジェットプロッターのユーザーで、GBRVU は最高速のソリューションであることが知られています。
- GBRVU は、FIRE 9000 Autoplot header と、組込みのマクロ定義アパーチャー、多角形のマーシされた明暗 (ダーク・アンド・クリア) レイヤーなどの RS274X 機能をサポートします。

ARTWORK CONVERSION SOFTWARE, INC.

Gerber 独特の機能とアパーチャ・フォーマットのサポート



GBRVU をスタートすると、ロードする Gerber ファイルのタイプを入力するよう促されます。このシステムには、アパーチャ定義の入力の手間を省くために、代表的なアプリケーション用アパーチャ・トランスレータが用意されています。Gerber ファイルのソースを見分け、適当なアパーチャ・トランスレータがアクティブになります。

ACS—Artwork のアパーチャリスト・フォーマット

MDA—FIRE 9000 Autoplot Format。組込み情報から、高速アパーチャ作成

RS274X—Gerber の拡張仕様。組込み情報から、高速アパーチャ作成

RS274X Dark Mode—Gerber Crescent のエリア・フィル・オプションをダーク・モードでエミュレート

RS274X Reverse Mode—Gerber Crescent のエリア・フィル・オプションをリバース・モードでエミュレート

DSN/GAP—Gerber ファイルをロードして、ECAM から dsn/gap を読み込む

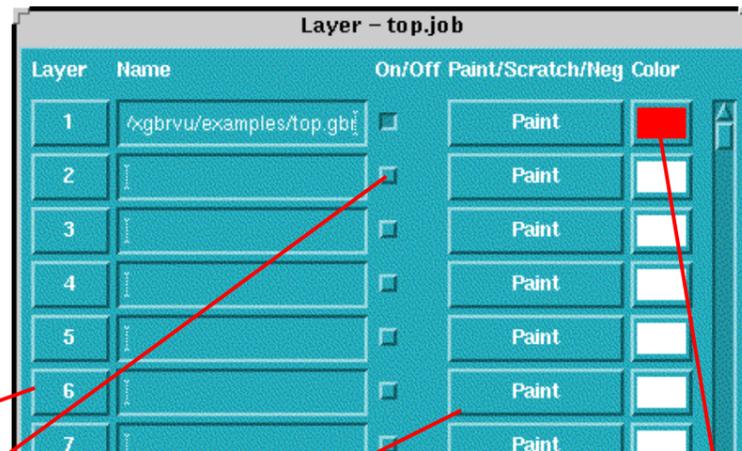
GAP—Wise Software の gap format のアパーチャリストを読み込む

Allegro—Allegro のアパーチャリストを読み込む

Mentor—Mentor Boardstation のアパーチャリストを読み込む

レイヤ・ディスプレイ

GBRVU のレイヤ・メニューを使えば、32 個までの Gerber ファイルを急速にロードできます。レイヤは個別にオン/オフ状態にすることができます。各レイヤの表示モードには：クリア・バックグラウンドにダークデータで描く『ペイント』、ダーク・バックグラウンドにクリアデータで描く『ネガティブ』、および、先のレイヤからデータを差引く『スクラッチ』の 3 種があります。各レイヤには、カラーとフィルパターンを割当てることができます。

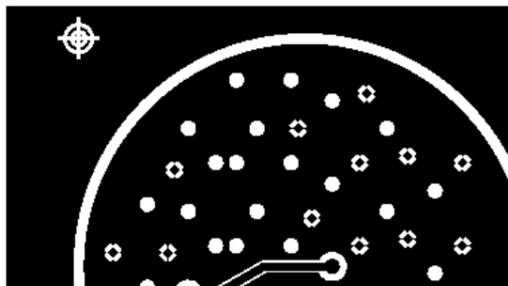


32 レイヤまでを同時表示

レイヤ表示のオン/オフ

Paint/Scratch/Negative の切替え

カラーとフィルパターンの設定

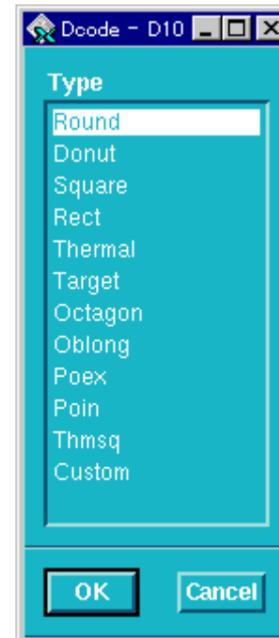


グラウンドプレーン・ディスプレイ

GBRVU は、左図の『パワープレーン』の例のようにネガティブとポジティブのレイヤを合わせた図面であっても、フォトプロッタが『フィルム』を作成するとき、全く同じようにディスプレイに表示します。

アパーチャ・セットアップ

『アパーチャ』は簡単操作のスプレッドシート型のテーブルで入力できます。ハイライト表示により、一見してどのアパーチャが使われているかわかります。

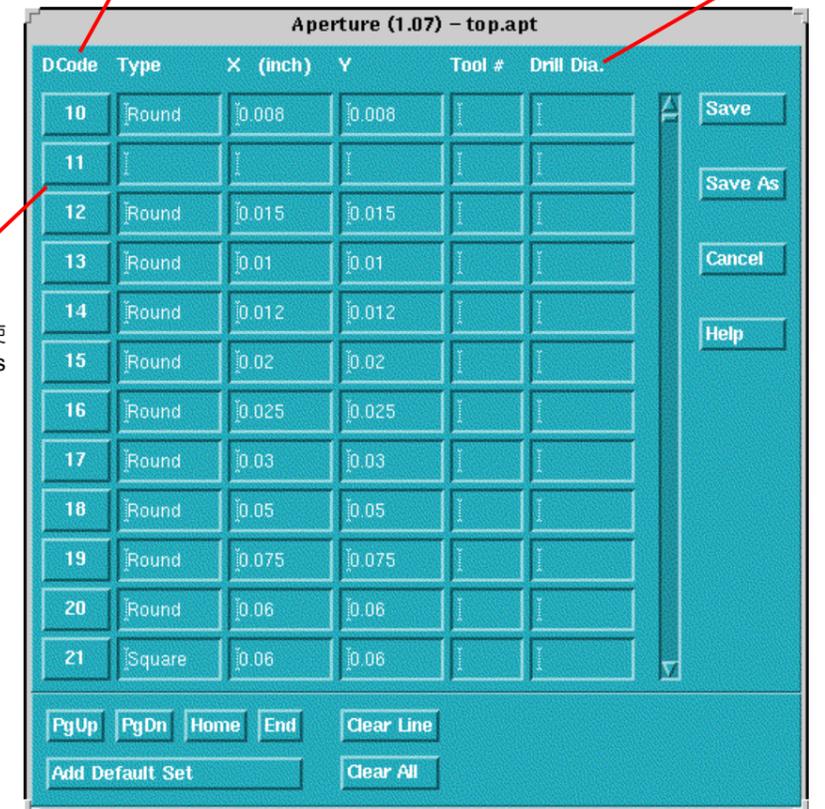


ファイルで実際に使われている D-codes をハイライト

↑ XGBRVU は標準アパーチャを直接サポートします。カスタム・アパーチャは RS274X か MDA フォーマットでなければなりません。

D10-D999 までサポート

『ドリル』とその直径を各アパーチャに対応させることができます。これは "Excellon drill files" または "X,Y tables" を生成するために使用します。



描画スピード

プロットング・スピードを大幅に上げたいならば GBRVU をお試しください。内部でラスタ化に用いられる CPU は、多くのプロッタの CPU と比べて 10 倍も早くなります。もともとのラスタを HPGL や Postscript ではなく直接プロッタに送るので、作業グループ全体の大型のフォーマルプロットを高速で出力できます。最近の高密度のマルチレイヤ・ボードでは、このような高解像度の大型フォーマル・チェックプロットが、レビューのために必須のレビュー・ツールになっています。

